

e-AAC 会報わかくさ

第9号

2013年 4 月 発行

e-Administration Advisor Club 自治体や中小企業のさまざまなITの お悩みをベテラン集団が解決

http://eaac.sakura.ne.jp/

わかくさ抄

~これからの IT について~

IT の進歩は速い。2-3 年前にマスコミなどでもてはや された「スマホ、スマホ」が今やだれもが気軽に使って いる。電車の中では、老若男女を問わず下を向いて 指をスマホの画面上でフリック(フリングともいう)してい る。このフリックという動作も今や目新しいものではな く、テレビの広告などでも頻繁に使われるようになっ た。また、二つの指で画面を広げたり、狭めたりする ビンチイン、ビンチアウトも特段新しいものではなくな った。スマホとともにタブレットも結構使われている。 本を読んだり、写真を撮ったりにも使われるようになっ た。タブレットのレンズで写真を撮るというのも撮られ るほうからすると従来のカメラと違う感覚になる。レン ズに向かうというより、タブレットの板に向かうという感 覚だからである。タブレットで驚くのは、動画像が大変 きれいに撮れることである。昔の「8ミリ」やビデオカメ ラとは比較にならないほど高品質でしかも明るい。



e-AAC 副理事長 小山正樹

さらに驚くことには、長時間撮影ができることである。 昔人間からすると、バッテリーとメモリーが気になる が、これが全く問題ない。驚くべき技術進歩というべき であろう。このような現象は日本国内だけのものでは ない。先日、学会の仕事でタイ国のチェンマイに行っ てきたが、空港でもまた街中でもスマホを使っている 人を多く見かけた。私が持っているコンパクト型の携 帯電話はポケットから出すのが恥ずかしく感じられ た。もはや、携帯電話も古い技術になったのかと愕然 としたものである。日本が先進国で、その他のアジア の国々が開発途上国という言葉はもはや全くあては まらないと痛感した次第である。このように技術進歩 が早い IT であるが、これをいかに仕事に役立ててい くのかはこれからの課題であろう。特にここ e-AAC と いう行政への IT 支援を目指す我々としては常に自ら 切磋琢磨し、これらの技術進歩に遅れないようにし、 タイムリーかつ適切に行政に対してアドバイスするこ とが重要である。そのためにも、今まで以上に積極的 に IT に向き合いたいと思っている。

今月のトピックス!

(奈良県緊急雇用創出事業)

★『葛城市地域情報化調査事業』 を受託しました。

情報化社会の進展にはめざましいものがあります。行政と地域の情報化へ向けた課題などを調査し、それに基づく葛城市の地域情報化のための計画を策定するものです。緊急雇用創出の条件のもと、7 名の新規雇用を採用し、約 5 ヵ月間の作業でした。

● 事業内容:市民、事業者へのアンケート及びヒアリング調査及び、 地域情報化5ヵ年計画の作成

事業期間: 平成24年10月19日~平成25年3月29日

@ 事業場所: 葛城市内



作業メンバーのみなさん [キックオフ大会]

★『学校教育の情報化支援事業』を継続しています。

学校教育の情報化支援事業(奈良県の委託事業)は、平成24年9月末に、終了しましたが、奈良市の14の小学校から継続の要請があり、要請校に対し24年度下期で54回の支援活動を行いました。前期までのプログラムに加えて、ゲームソフト『プログラミン』を使ってゲームを作る講座を加えました。ソフトを組む体験は子供たちに非常に人気がありました。"ものづくり"に興味を抱かせ、知識を超えた創造する喜び・工夫を誘発し、子供たちに感動を与えることができました。学校教育の情報化支援は、25年度も継続していきます。



「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して、行政の 情報化支援を行っています。

自治体会員に実施した『ちょっとアドバイス』の テーマ (平成 24 年度 実施分)

	テーマ
1	ホームページ・リニューアル時の RFP* ¹ 作成手順
2	グループウエア導入の考察
3	地域情報化生活マイルストーン・アイテム
4	地域文化活動の情報化の取組み
5	自治体 Web サイトクオリティ実態調査
6	グループウエア導入における担当者の取組み
7	ICT 部門の業務継続計画
8	地域文化活動の情報化支援取組みの提案
9	行政機関の情報セキュリティ対策基準
10	自治体クラウド・システム構築の取組み
11	情報セキュリティチェック項目
12	情報セキュリティ監査チェックリスト
13	ストレージサーバー構築の留意点
14	クラウドに関する動向調査
15	ホームページ・リニューアルに関する情報
16	学校教育の情報化について

*1 RFP: 提案依頼書

調査員会議

2. 葛城市地域情報化調査事業

■事業期間: 平成 24 年 10 月 19 日~平成 25 年 3 月 29 日

■条件: 失業者の採用条件、7名の新規雇用

- ■業務内容: 葛城市の情報化の現状を調査することにより葛城市 の地域特性や市民ニーズ等を明確にし、今後5年間を見据え た基本計画を作成し、高度情報化推進の方向性を示す。
 - ① アンケート調査及び分析
 - ・ 市民 3,000 名:回答の回収率 39%
 - · 事業者 559 件:回収率 70.9%
 - 個別 195 件
 - ② 政府・民間・他市町村の動向調査
 - ③ ICT 利活用、基盤整備の動向

④ 地域情報化基本計画および実施計画の作成



「第2部会」からの報告 NPO 基盤強化支援

第2部会では受託業務が終了し、NPO 基板強化支援する新たなテーマを検討中です。現状、これまでの我々の調査では認可されている NPO・各種団体の 40%が、IT環境(特にパソコンベースの情報入手手段)を持っていないことが分かっています。したがって、ITを活用した NPO の発展形は潜在的に数多くある筈で、それでもなかなか ITを導入・定着できない課題は何か、部会内で議論しています。「具体的にITによる発展形の NPO モデルをひとつ設定し、それに絞って活用事例をアピールしていく活動」、「SNS*2を活用した NPO 間の情報交換の提案」、「NPO を継続していくための後継者問題」、「IT 機器の運用経費の問題」など、さまざまな角度から検討を加え、積極的なアクションを検討していきたいと考えています。

*2 SNS:

Facebook などに代表されるコミュニティ型の Web サイトのことで、参加するユーザーが互いに自分の趣味、好み、友人、社会生活などのことを公開しあったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことができる。

コンピュータ・ソフトウェア会社様より ~寄贈ソフトの提供を受けています~

これは NPO 団体の活動をより効果的に展開するために、ソフト提供企業より好意的に寄贈されるものです。過去 3 回実施され、毎回大変要望が多く、活用が進み、e-AAC の活動に大きく寄与していていると思われます。

寄贈対象となる法人は、その活動分野が寄贈対象に 適合しているかなど審査を受け、これにパスする事が 必要です。また寄贈されたソフトを活用する人はパスし た法人の会員であることが必要です。

会員の皆様におかれましては、ICT の普及活動に、 なお一層活用していただくようお願いします。

- 今回、e-AAC 会員からの要望したソフト -

《マイクロソフト社 様》

4 件
9 件
1 件
1 件
1 件
1 件

《アドビ・システムズ社 様》

InDesign CS6 Win ESD (Japan)	1 件
Photoshop CS6 Win ESD (Japan)	2 件
Photoshop Elements 10 ESD (Japan)	1 件

「第3部会」からの報告 パソコン研修

受託『パソコン教室』の実績 (H24/10~H25/3)

1. 奈良県復興支援事業

11/10, 11 11/17, 18 11/24, 25

何でも相談:インターネット・デジカメ・ワード・エクセル・年賀状

 五条市岡口(仮設住宅) 8名

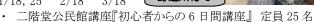
 五条市坂本(郷土館) 5名

· 野迫川北股(仮設住宅) 5名

2. 天理市『パソコン教室』

1/18, 25 2/18 3/18





パソコン入門からワード、図形、エクセル、デジカメなど、6テ

3. 耳成公民館『パソコン教室』

H24/10~H25/2 10 回

- パソコン入門からワード、エクセル、デジカメ、インターネット など
- ・ パソコン教室:午前の部 20 名、午後の部 20 名
- ・ フォロー教室(教室開催日の午後に実施):のべ85名

4. 都祁公民館

10/17, 31 11/14 12/12

- く初心者からのパソコン5日間講座> 定員:22名
- ・ パソコン入門からワード、エクセル、デジカメ、年賀状の 5 テ

5. 三笠公民館

2/10(日)10 時~3 時(公民館フェアー)

- くパソコンなんでも相談会を開催> 定員:22 名
- 自作パソコン、BIOS、レジストリ、OS7,8 などの相談
- インターネット、デジカメ、ワード、エクセル、ゲーム等の相談

6. 宇陀中央公民館

パソコン講座実施 各分室定員 20名

- ・ 菟田野分室[デジカメ写真の取込と編集] 11/11
- · 榛原分室[年賀状作成] 11/17.18

7. NTT 電友会(大安寺) 『パソコン教室』

H24/10~H25/3

- ・ 10 回コース(隔週 1,3 火曜日)定員 20 名
- パソコン入門からワード、エクセル、デジカメ、インターネット など

大宮教室 facebook

8. ナビの会:

毎月第2月曜日 13:30~16:30 開催

e-AAC「パソコン教室」事業

- 1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所
 - ・ 土曜パソコン教室(パソコン初心者向) 1,3 土曜日
 - パソコン入門、ワード、エクセル、デジカメ、インターネット
 - ・ その他、「何でも相談」実施 月~金 延べ99名

2. 高田教室: 中和労働会館&奈良県産業会館

- ・ 水曜パソコン教室 (毎週水曜日) 定員:20名
- パソコン入門から、ワード、エクセル、デジカメ、インターネット等

3. 郡山教室: 奈良県郡山庁舎(旧片桐高校跡)

- 月曜パソコン教室:(毎週月曜日)定員:20名
- パソコン入門から、ワード、エクセル、デジカメ、インターネット等

4. 学園前教室: 近鉄プラザ6F

- ・ 木曜パソコン教室 (毎木曜日午後) 定員:20名
- パソコン初心者コース:H24/10~11
- ワード、エクセル、写真の自由自在コース:H24/12~ H25/3

「第4部会」からの報告

e-ACC ワークショップ

セミナー 平成24年11月8,22日12月6日 の3日間 於: 奈良女子大学コラボレーションセンター

『スマートへスケアで地域を元気に』

少子・高齢化の時代を迎え、あらゆる年代で健康への関 心が高まっている中、健康をテーマに、新しいサービスの提 供が様々生れようとしています。本セミナーではビジネスとし ても今後、高い成長率が見込める健康分野において、市場 の動向、最新トピックス、最新技術の紹介などや、現在これか らの ICT、工学、医学が作り出す新たな研究や開発領域に ついて次の9テーマで8人の先生方に講演いただいた。

- 1. 基調講演:スマートヘルスケア~ビッグデータの利活用~ 奈良女子大学教授 城和貴氏、
- 2. 超高齢社会に向けた医療・健康づくりの課題とICT 展開への 奈良県健康づくり推進課 大原腎了氏、
- 3. 今後のデジタルヘルスの動向~ICT、バイタルサインを活用 奈良女子大学特任准教授 梅田智広氏
- 4. 運動医科学の虚と実 京都大学大学院教授 森谷敏夫氏
- 5. 医療における最近の超音波技術とその安全性 同志社大学教授 秋山いわき氏
- 6. プロアシストのヘルスケア事業

株式会社プロアシスト 生駒京子氏

- 7. ICT を応用した新しい血圧管理システム:メディカルリンク オムロンヘルスケア株式会社 白崎修氏、
- 8. 小さな物づくりで地域活性化~ ヘルスケアは身近なニーズ~ 奈良県工業技術センター 林田平馬氏
- 9. バイタルサインの活用例と計測結果について

奈良女子大学特任准教授 梅田智広氏

また、ウェアラブル生体センサを用いた従来にないスマートなヘルス ケアナビゲーションシステムにも参加頂き体験してもらった。



『運動医科学の虚と実』

京都大学大学院 森谷 敏夫教授の講演

第 13 回 e-AAC ワークショップの開催を検討中です。募集開始 いたしましたら多くの皆様にご参加いただけるようご協力をおねがい します。

また、開催テーマなど皆様のご要望、ご意見がありましたら、事務 局までご連絡下さい。

「特別プロジェクト」からの報告

■ 平成 24 年度下期 『学校 ICT 支援』実績

1. 児童セキュリティ講座

- 鼓阪北小学校6年生
- 佐保小学校5,6年生 2回
- · 平城小学校6年生 2回

2. ものづくり教室

- パソコン分解:パソコンクラブ 1限 於:神功小、富雄北小 富雄南小



3. パソコン授業支援

- ① 低学年対象パソコン基本を「JS:ジャストスマイル」で授業支援
- ・ パソコン起動と終了、マウス操作、キー入力の基本
- インターネット、携帯の「セキュリティいろは」
- 名刺、ありがとうカード、カレンダー、発表名人による自己紹介
- ② 高学年(4, 5, 6年): デジカメと MS オフィスで授業支援
 - ・ インターネット/ワードで世界遺産リーフレットづくり
 - ・ デジカメ/パワーポイントで資料づくりとプレゼン
- ワード(HTML)でホームページづくり
- エクセルでカレンダーづくり

於:大安寺、柳本、西大寺北、佐保台、朱雀、伏見、の各小学校

4. 中学校授業支援

興東中学校 2 限



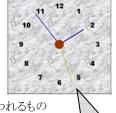
■ H25年度『授業支援』 提案

1. 小学校「総合学習」授業「5テーマ」の提案

- ① 「ものづくり」教室:・クラブ活動:1限 ・高学年授業:2限 i.パソコン分解 ii.プログラミン体験 iii.スマートフォン分解
- ② 自然エネルギーと発電 ・クラブ活動: 1限 ・授業: 2限 i.自然エネルギー ii.手回し発電機 iii.太陽光パネル
- ③ 低学年(1, 2, 3年): JS でパソコンの基本操作: 2 限i. 正しい起動終了 ii. JS でカードづくり iii. JS でローマ字入力
- ④ 高学年(4, 5, 6年): MS Office 授業:2 限 クラブ活動:1 限i.ワード ii.パワーポイント iii.エクセルiv.ムービーメーカー・デジタルカメラを楽しむ
- ⑤ 児童セキュリティ講座(保護者含む) i.インターネット/スマホを正しく安全に使う

2. 中学校「部活」で[ものづくり教室]の提案

- ① 「ものづくり教室」パソコン分解、パーツから構造機能を学ぶ
- ② 「ものづくり」の原点を考える
- i.1限目:電卓戦争からパソコンやデジタル TV まで
- ii.2限目:CPU/DRAM/LCD・液晶・半導体等原点学ぶ
- ③ ISO9000(世界標準)と「ものづくり」
- i.日本の明日の「ものづくり」を考える
- ii.世界標準「4つのD」の教えとは
- ④ 「アナログ時計」とホームページの制作
- i .エクセルで「アナログ時計」をつくろう
- ii.ワード(HTML)でホームページをつくろう
- ⑤ 「知的財産権」と明日の「ものづくり」に問われるもの
- i.著作権、特許、肖像権 避けられない 問題を考える
- ii.情報化時代の「情報セキュリティ」を考える



エクセルで

「アナログ時計」

事務局からのご連絡

寄贈ソフトのご紹介

e-AAC 会員のみなさまに、毎年、寄贈ソフトの紹介をしています。今年も、2月にご案内して、14名の方からマイクロソフトおよびアドビ・システムズの製品 21件の希望を受け付けました。

寄贈ソフトの主旨は、NPO 団体の活動をより効果的に 展開するために、ソフト提供企業が好意的に活動団体に 寄贈するものです。

2 Page に関連記事があります

中間支援 NPO 連絡会議

毎月、奈良県協働推進課が主催する会議で、中間支援組織 9 団体がそのメンバーになっています。県からの連絡 事項および NPO 活動の取組についての情報交換が主たる 内容です。ここで、メンバー間のコミュニティの場として フェイスブックを利用することを進めています。

e-AAC 連絡会議について

毎月、第1 土曜日 13:15 より連絡会議を開催しています。会員どなたも参加すること大歓迎です。議論に参加して、e-AAC の活動をますます元気にしましょう。

☆編集後記☆

e-AAC 第 9 号を発刊します。 スマホをはじめ ICT の活用が超スピードで進む中、これをうまく活用している人たちと、なかなかそこに踏み込めないでいる人たちがいるように感じます。 我々の活動を通して ICT が広く万遍に普及していくことを期待したいと思います。 (M.Sato)

発 行

特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部

(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/

協賛団体

HPC CCC-TIES

大学連携組織による教育の改善・充実







"光"、ひろがる。ひびきあう。



シャープ株式会社